

# intertek

## news

### Vol.72

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

## CONTENTS

### 01 品質と技術の伝承

### 02 特集

### 03 建設業とISO9001/14001/45001

～経営事項審査の手続き～

▶ 建設業とISO9001/14001/45001

～経営事項審査の手続き～

▶ 事例紹介:株式会社堀組

「21歳、国交省現場代理人2名」

### 04 News&Topics

▶ 輸出促進法(うち、HACCP支援法みなし規定)の確認作業業務を開始

▶ 新セミナー案内:ISO/IEC27017規格概要説明・導入コース

▶ 審査員会議

▶ Q&A

### 05 審査の現場から

▶ お客様紹介

(株式会社平和堂)

### 06 連載よみもの

▶ 審査員リレーエッセイ

「聞かれたこと以外は答えないように!」

(審査員 衛本 芳紀)

▶ 環境とISO14001

「新型コロナウイルス危機」(その3:グリーンリカバリー)

### 07 お客様からのお便り

▶ 「機械加工一筋、創業104年」

(中川鉄工株式会社)

▶ 「厳選素材で『食卓笑顔』」

(上進漬物工業株式会社)

### 08 研修コースのご案内

▶ ちょっといっぴく

▶ 研修コース案内

▶ 受講生からのお便り

(株式会社京都環境保全公社)

## 品質と技術の伝承

品質管理 のだ こうじ 野田 浩二



平素より弊社の認証サービスをご利用いただきありがとうございます。ごじます。

昨年も多くのお客様の審査をさせていただきましたが、内部の課題として、「技術の伝承」をあげられるお客様が多くありました。この対応の一つに「ナレッジマネジメント」があります。すでに国際規格としてISO30401が制定されておりますが、普段お使いの手順書を見直すことで改善につながる場合もあります。

ナレッジマネジメントの基本は、「暗黙知」を「形式知」に変換することです。ベテランの持つ技術、技能は、品質に影響することも多く、技術の伝承が上手く進まない理由にこれらの技術、技能が暗黙知となっていることが考えられます。そこでお使いの手順書に以下の工夫をしてみてくださいはいかがでしょうか。

- 1) 手順(作業)の目的を明確にする:簡単な文章で構いません。これは、作業者のリスク意識を高めるのと作業の正しさを理解しやすくするためのものです。例えば「後工程の作業者がケガをしないためにバリを除去する」など。
- 2) 各手順に、ベテランが注意していることを「注意ポイント」として記入する。例えば「半製品の持ち方、置き方、向き」「確認ポイントおよび確認順序」「判断基準」など。  
※これらは経験や五感(味は限定されますが)でおこなわれており、暗黙知になりやすい内容です。
- 3) 上記の「判断基準」が明確でない場合は、確認できるように評価方法や基準を設ける。  
※例えばバリを触感で確認するのはケガにつながる手法なのでお奨めしませんし、基準は明確になりません。消しゴムを当てても削れないなど、代用手法を見つけましょう。

品質を守るための技術の伝承により、皆様の未来が明るく続きますように。

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

